

慈光のもと、ご門徒のみなさまにおかれましては宗門護持、寺門興隆のために常日頃よりお力を尽くして頂いておりますことを厚く御礼申し上げます。このたび無為信寺本堂改修工事が無事に完了致しましたので、謹んでご報告させていただきます。

令和2年2月より本格的な改修工事に着手し、工事請負業者各位によ

る誠実なる施工のもと、素晴らしい屋根が再び蘇りました。多くのみなさまの御尽力に心より感謝いたします。

住職としてこの伝統ある無為信寺本堂をこれからも末永くみなさまと共に守って参りたいと存じます。

無為信寺

第二十二世住職

武田 真

本堂改修工事完了のご報告と御礼



無為信寺本堂改修工事事業通信

み光のもと



無為信寺
-第二号-



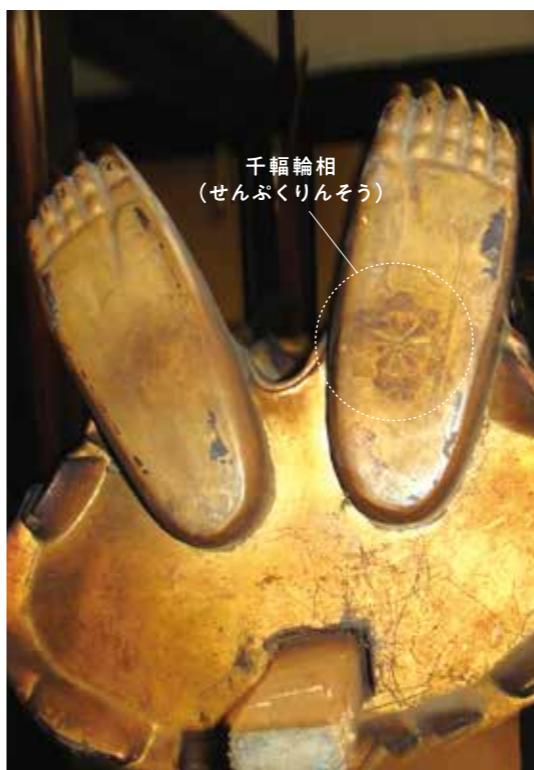
本堂ご修復の歩み

一足裏の千輻輪相

真宗のご本尊である阿弥陀如来像や仏具等を令和2年2月12日に庫裡へご移動いたしました。お手伝い頂いたのは新潟市南区株笠井仏壇工芸の伝統工芸士笠井俊裕さんです。

繊細な作業ですが丁寧にご本尊をお運び頂きました。その時に写した阿弥陀様の足裏の貴

重な写真です。「千輻輪相」（せんぶくりんそう）というスポーツの車輪の文様があります。車輪の外周は矢尻のような武器が付いており、この武器で人間の煩惱を蹴散らし、仏教に人びとを帰依させる力があると言われています。



伝統を継承し革新を続ける匠の技

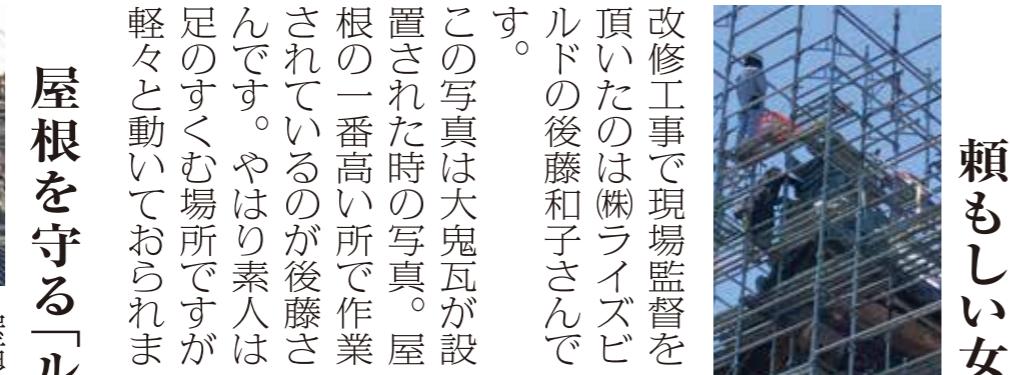


左官工事

改修工事は、屋根改修が中心で、屋根改修も大切な改修でした。

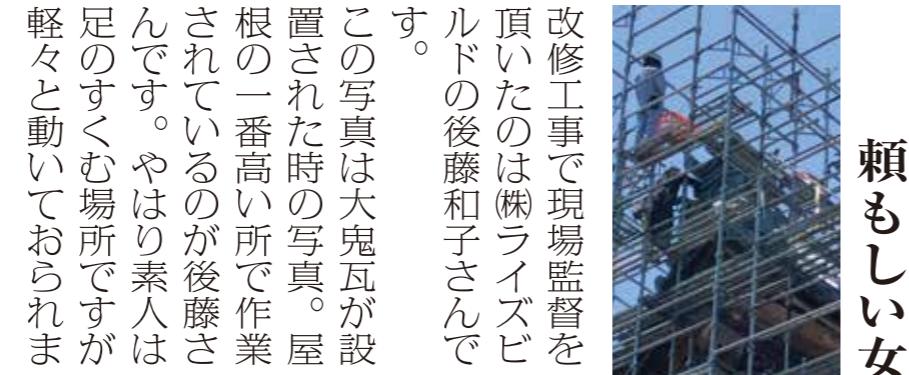
工事を請負って頂いた職人さんは、村松の樋口左官工業所の樋口薰さん（右側）、新潟市堀工業の堀美幸さんと堀良成さん（左側）です。どちらも左官業界では有名な方々です。樋口さんは全国の文

化財指定建造物修復工事の経験があり、土蔵や漆喰の豊富な知識で若手の育成もされています。また、堀美幸さんと堀良成さんはご兄弟で技能五輪国際大会の左官・日本代表に選出され、美幸さんは銀メダリスト、良成さんは金メダリストとして日本の伝統技能の担い手として活躍されています。また、下の写真は本堂基礎部分にある漆喰の「亀腹」（かめばら）と言われるもので新潟県の寺院には珍しい施工とのことです。



屋根を守る「ルーフィングシート」

屋根を守るのは「瓦」だけではなく、瓦の下に敷く防水加工された「ルーフィングシート」を施工し、その上に瓦を並べていきます。また以前は瓦の固定には銅線が使われましたがこの度の平瓦を固定するためには「ステンレス釘」を



頼もしい女性現場監督

この写真は大鬼瓦が設置された時の写真。屋根の一番高い所で作業されているのが後藤さんです。やはり素人は足のすくむ場所ですが軽々と動いておられま

した。ちなみに後藤さんの母方の祖父は京ヶ瀬の故圓山八郎さんです。長きにわたり無為信寺の世話方を務められて寺のために尽力されました。現住職が小學生の頃、得度式（出家）のために京都の本山・東本願寺まで同行して頂いた方です。そのお孫さんがこの度の修復事業の現場監督を務めて頂きました。とても深い仏縁を感じております。



懸魚（げぎょ）の釘隠し

これは本堂屋根の妻飾りの一種で懸魚（げぎょ）の釘隠しと言われるものです。このたび新しいものを取り付けさせて頂きました。懸魚は魚の形をしており、本堂を火災から守るために神社仏閣に取り付けられるものです。無為信寺は大正2年の火災により本堂を焼失した歴史があります。焼失前の御本尊は運慶の息子湛慶作との言い伝えがあります。寺にとつて何より怖いのは火災です。二度と火災を起こさないと心新たにしております。

平瓦は丸三安田瓦工業（株）で焼き上げられた安田瓦を使用しました。天保年間（1830年）から生産されたという安田瓦は、強度や、耐寒性に優れ、深い鉄色は本堂全体の重厚感を演出します。ちなみに以前の瓦は笛神地区笛岡の瓦が使用されていました。

葺き替えた瓦の枚数は約2万枚



鬼師 村山 茂さん

鬼瓦は屋根の花形。その瓦造形の卓越したセンスの持ち主である鬼房の村山茂さんが有名です。以前から改修工事の時は鬼瓦を作製して頂きたいとお願いしておりました。



仮設の足場で本堂をすっぽり囲みました。4月15日の境内地の枝垂れ桜が咲いていた時期の現場です。



第一期事業年度

御志納状況報告

特別会計監査委員会

柄澤 仲一 海津 喜悦郎

小林 修司 五十嵐 宏

長谷部 昭一

武田 真

私たち監事は、通帳、領収書など関係書類を確認した結果、適正に処理されていましたのでここにご報告いたします。

令和3年2月8日

令和3年1月31日時点 達成率 90.72%

御志納入金済総額 48,085,000円

内訳 御門徒御志納総額 47,705,000円

有縁者御志納総額 380,000円

目標総額 5,300万円

去る令和3年2月8日、無為信寺庫裡にて第二期の特別会計中間監査委員会を実施致しました。このたび2020年2月1日より2021年1月31日までの御志納状況につきましてご報告させて頂きます。



第二回御志納完納者御芳名披露

-令和2年2月1日～3年6月30日現在の完納済者の方を掲載しております-

渡吉	吉山村	宮水	増福	庭庭	西新	對高	鈴杉	笛齋	鎌鎌	金音	小小	薄五百	阿部
邊村	田山	阪野	山澤	山山	脇井	橋馬	野原	川藤	田田	卷田	川川	田川	五十嵐
講慎	繁統	茂恵	重章	稔春	一巖	俊英	正孝	英紘	俊八	由和	保義	恒哲	朗
英吾		喜子	雄	雄人	長夫	夫道	榮美	一朗	重雄	子子	清夫	徹剛	
					長衛		子						

本年工事完了にともない、落慶法要等を厳修する予定でしたが、現在のコロナ禍の状況により来年の実施を目指して準備をしてまいりたいと存じます。

お知らせ

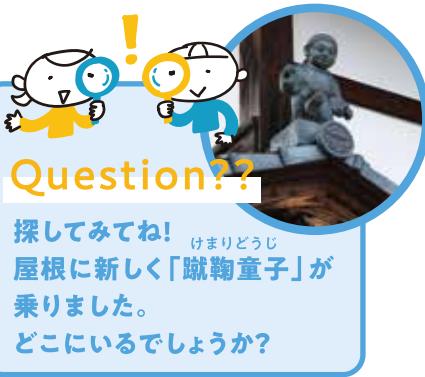
落慶法要について

・物故者のお名前がございますが、完納時の御志納者名を記載しております。
・「御志納申込書」の未提出の場合、完納額が未確定のため完納確認ができませんので、完納目標額のお申し出をお願い致します。
・お名前に誤字脱字などございましたら寺までご連絡ください。

御志納完納者 掲載にあたり

このたびの改修により以前の大鬼瓦は、阿賀野市庄ヶ宮・スープライズビル

様の機材センターへご厚意により記念として設置されました。是非ご覧ください。



探してみてね! けまりどうじ
屋根に新しく「蹴鞠童子」が
乗りました。
どこにいるでしょうか?